## 2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016年 2月 4日作成)

1	(2010年 2月 年日[[版]
小委員会名	空間研究小委員会       主 査 名:鈴木 弘樹         就任年月:2014年4月
所属本委員会	<b>■ 建築計画委員会 ■ ■ 委員長名</b> :大原 一興
(所属運営委員会)	(計画基礎運営員会) 主 査 名: 西出 和彦
(別属建呂安貝云)	(日四季城是各兵云) 工 且 1. 四四 11/2
設置期間	2014年 4月 ~ 2016年 3月
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・空間研究の再構築 (歴史的計画研究の継承から、新しい空間研究へ) 2014 年度:新規活動方針の検討、「空間研究」に関する調査・研究活動。公開研究会の開催(年3回程度)ミニ研究会の開催 (随時) 2015 年度:事例収集、「空間研究」に関する調査・研究活動。公開研究会の開催(年3回程度)ミニ研究会の開催 (随時)
	委員公募の有無:無
委員構成 (委員名(所属))	No         役職         氏名         勤務先           1         主査         鈴木 弘樹         千葉大学 大学院工学研究科           2         幹事         徐         華         日本工業大学 建築学科           3         幹事         恒松良純         東北学院大学 工学部           4         委員         郷田 桃代         東京電機大学 建築学科           5         委員         積田 洋         東京電機大学 建築学科           6         委員         佐野 友紀         早稲田大学 人間科学学術院           7         委員         大田 東京理科大学 理工学研究科           8         委員         丹羽由佳理         東京理科大学 理工学研究科           9         委員         北川 啓介         名古屋工業大学 大学院工学研究科           10         委員         佐藤 将之         早稲田大学 人間科学学術院           11         委員         店橋 浩伸 熊本県立大学 環境共生学部           12         委員         小林美紀         東京工業大学 大学院総合理工学研究科           13         委員         市塚 元義         千葉工業大学 デザイン科学科           14         委員         永峰麻衣子         小山工業高等専門学校           15         委員         板家介         大東文化大学環境創造学部環境創造学部
設置 WG (WG 名:目的)	新空間探求WG:建築空間および都市空間を内部空間、外部空間という視点でとらえ、これらを含めた広義の「空間」研究分野について、他分野も含めた専門家や研究者による横断的な視野での討論会、座談会を企画し実施することを目的とする。 空間研究調査分析方法 WG:主に空間研究小委員会の活動および関連研究の研究者、他分野の研究者等によって蓄積された空間研究分野における研究成果を、広く社会に公表するために出版物の刊行企画を行い「空間研究」の魅力を伝えることを目的とする。
2015 年度予算	135,000 円 ホームページ公開の有無: 委員会 HP アドレス:

項目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1.「建築・都市計画のための空間学事典(増補改訂版)」を執筆・編集中である。
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	<ol> <li>第79回 建築・都市計画のための調査・分析方法 参加者数 24名 (資料名) 建築・都市計画のための調査・分析方法 資料</li> <li>第80回 空間研究のこれまでとこれから 参加者数 53名 (資料名) 空間研究のこれまでとこれから</li> </ol>
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 研究会開催は2回実施された。複数件が企画中である。(計画:年2回予定) 2. ミニ研究会は3回実施された(計画:随時) 3. 委員会は5回開催された(計画:年4回予定)
委員会活動の問題点 ・課題	

- \*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- \*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。